

MS832 USB 仮想COMドライバ

インストールマニュアル

バージョン 2.0

はじめに

本書は、MS832-7UCB00-SG を対象とした、USB 仮想 COM ドライバのインストール・アンインストール方法および作成された仮想 COM ポートの使用方法例（RSWedge）を掲載しています。該当機種以外をご使用中の方は、該当機種の製品ページから専用のインストールマニュアルをダウンロードしてご使用ください。

USB 仮想 COM モードを使用する場合、バーコードデータを取得して出力するためには、「COM ポートが扱えるアプリケーション」を別途ご用意いただくか、巻末の「RSWedge™ Unitech 版」をご使用いただく必要があります。バーコードデータを取得したいアプリケーションが COM ポートを取り扱えるかどうかは、アプリケーションの開発元や貴社のシステム管理者様などへご確認ください。

USB 仮想 COM ドライバのインストールが必要なケースについて、以下に例を掲載いたします：

- 全角英数記号文字を含む日本語入り QR コードを使用しているケース
- COM ポートが必要なアプリケーションを使用しているケース

（RSWedeg™ Unitech 版は、COM ポートから取得したバーコードデータを、アクティブなアプリケーションに、キーボードデータとして入力するためのキーボードウェッジソフトウェアです。）

目次

はじめに	1
Windows 10 について	2
事前準備	4
USB 仮想 COM ドライバのインストール	5
USB 仮想 COM ドライバのアンインストール	7
USB 仮想 COM ドライバのインストールが上手くいかない場合	8
付録 A：Windows8/8.1 でドライバー署名の強制を無効にする方法	9
付録 B：デバイスマネージャーを開く方法（例）	10
付録 C：RSWedge™ Unitech 版	11
RSWedge™ Unitech 版 送付依頼書	17

Windows 10 について

Windows 10 で使用する場合、特別なドライバのインストールは必要ありません。
それ以前の OS では本項目の次ページから始まる専用ドライバのインストールを行う必要があります。

1. MS832 を PC の USB ポートへ接続します。

2. MS832 を USB 仮想 COM モードへ変更します。

次の「USB 仮想 COM モード」バーコードを MS832 を使用して読取ります。本項はクイックリファレンスガイド掲載の「USB 仮想 COM モード」バーコードと同一のものです。

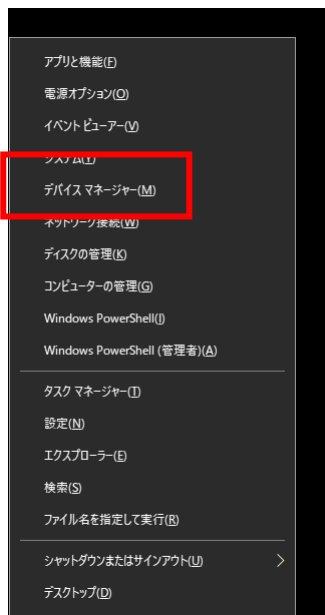


USB 仮想 COM モード

3. Windows10 が自身の持っている標準ドライバを割り当て、自動的にインストールします。

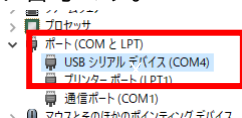
4. デバイスマネージャーを実行します。

キーボードの Windows キー（旗のアイコン）を押しながら X キーを押し、表示されるメニューから選択します。



5. COM ポート番号を確認します。

ポート(COM と LPT)の項目に USB シリアル デバイス (COMXX)と表示されます。XX が COM ポート番号です。

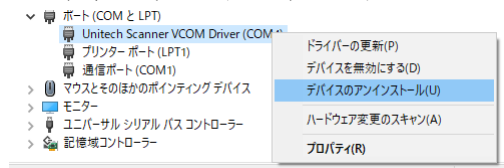


6. 専用のアプリケーションを実行し、MS832 からのデータを取得・表示します。

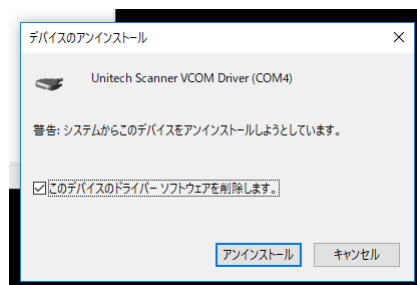
巻末の [RSWedge™ Unitech 版](#) または、業務に使用するシリアル通信可能な専用アプリケーションを使用し、前述の COM ポート番号を指定して実行してください。

以前のドライバがインストールされている場合など、以下の手順で削除していただき Windows10 の標準ドライバ（USB シリアルデバイス）で動作させてください。

デバイスマネージャのポート(COM と LPT)に表示されている MS832 2D Imager Scanner を右クリックして、デバイスのアンインストールをクリックします。



このデバイスのドライバーソフトウェアを削除します。にチェックを入れてアンインストールボタンで削除してください。



以前のドライバインストール後は、PC の再起動を行ってください。うまく Windows10 の標準ドライバが認識しない場合は、MS832 を接続し直してみてください。

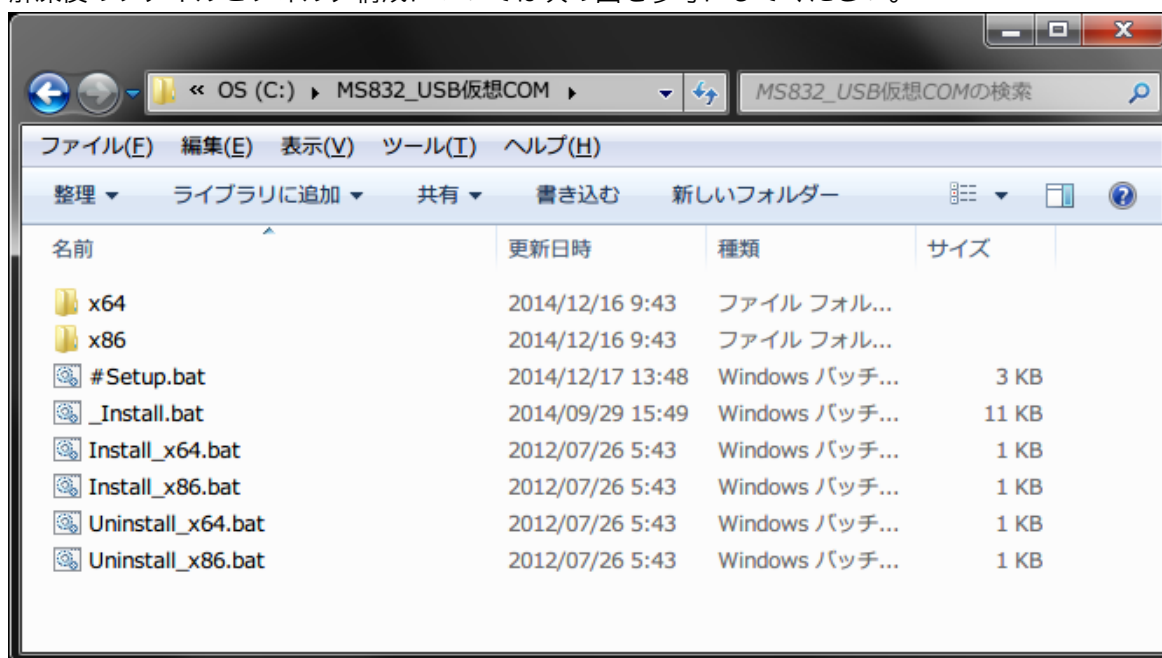
事前準備

7. USB 仮想 COM ドライバをダウンロードし展開する。

MS832 製品ページより USB 仮想 COM ドライバをダウンロードします。ダウンロードしたファイルは ZIP で圧縮されていますので、任意の場所へ解凍します。

(注意：本書では C ドライブの直下へ「MS832_USB 仮想 COM」というフォルダを作成してそこへ解凍しているものとしています。)

解凍後のファイルとフォルダ構成については次の図を参考にしてください。



8. Windows へ管理者としてログインします。

Windows 8/8.1/10 では、ドライバー署名の強制を無効にした状態で管理者としてログインする必要があります。「[付録 A : Windows8/8.1/10 でドライバー署名の強制を無効にする方法](#)」を参考にしてください。

9. MS832 をホスト PC へ接続します。

10. MS832 を USB 仮想 COM モードへ変更します。

次の「USB 仮想 COM モード」バーコードを MS832 を使用して読取ります。本項はクイックリファレンスガイド掲載の「USB 仮想 COM モード」バーコードと同一のものです。



USB 仮想 COM モード

USB 仮想 COM ドライバのインストール

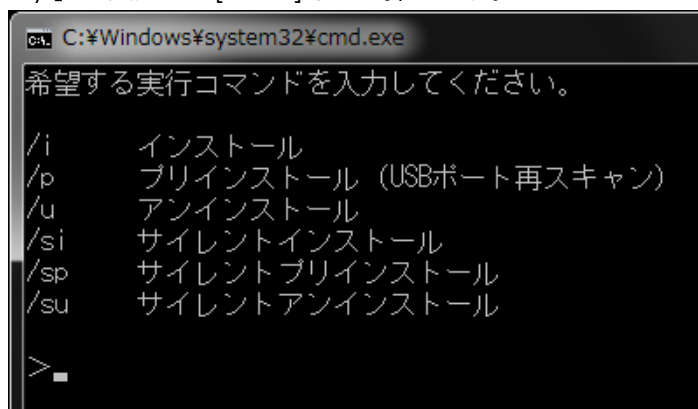
以下の作業は、MS832 をホスト PC へ接続したまま行ってください。

1. #Setup.bat を実行する。

USB 仮想 COM ドライバを展開したフォルダ内にある「#Setup.bat」ファイルをダブルクリックして実行してください。

2. インストールコマンドを入力する。

「/i」と入力して[Enter]キーを押します。



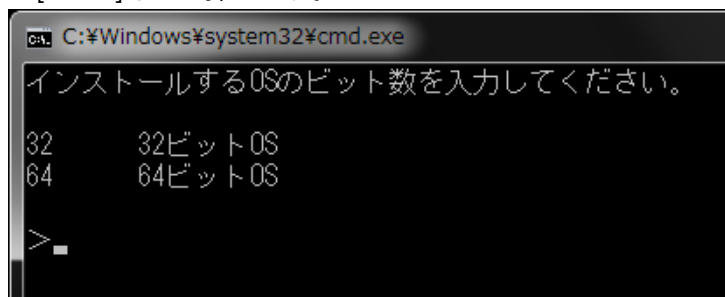
```
C:\¥Windows¥system32¥cmd.exe
希望する実行コマンドを入力してください。

/i      インストール
/p      プリインストール (USBポート再スキャン)
/u      アンインストール
/si     サイレントインストール
/sp     サイレントプリインストール
/su     サイレントアンインストール

>
```

3. 使用 OS のビット数を入力する。

32 ビット OS を使用している場合は「32」を、64 ビット OS を使用している場合は「64」と入力して[Enter]キーを押します。



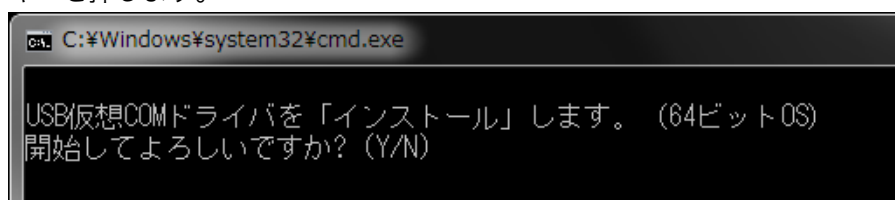
```
C:\¥Windows¥system32¥cmd.exe
インストールするOSのビット数を入力してください。

32      32ビットOS
64      64ビットOS

>
```

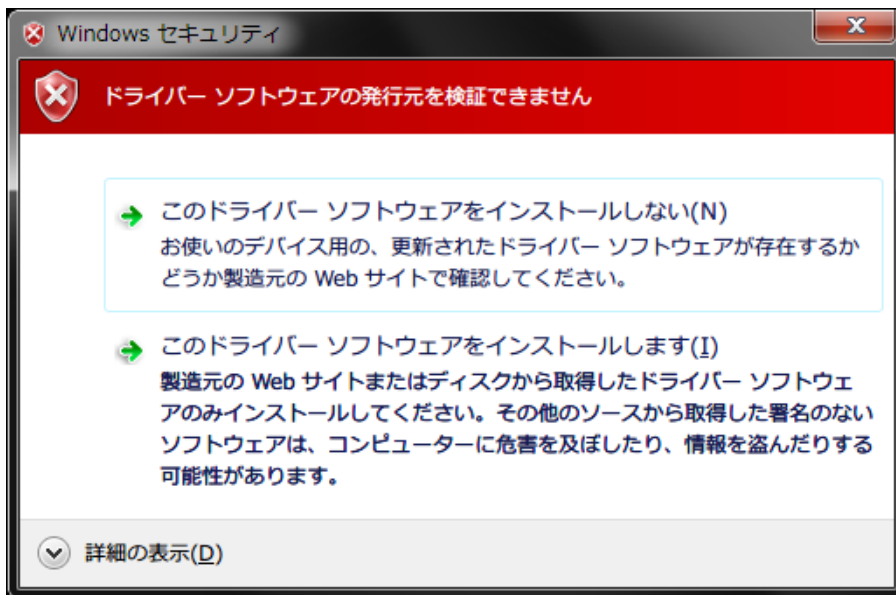
4. インストールを開始する。

インストールを開始する場合は「Y」を、インストールせずに終了する場合は「N」を入力して[Enter]キーを押します。




```
C:\¥Windows¥system32¥cmd.exe
USB仮想COMドライバを「インストール」します。(64ビットOS)
開始してよろしいですか? (Y/N)
```

ドライバインストール中にセキュリティ警告が表示される場合は、「このドライバーソフトウェアをインストールします」をクリックして、ドライバのインストール作業を続行してください。

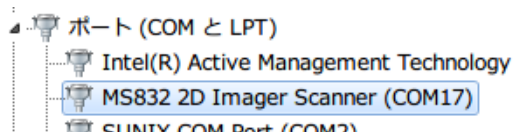


ドライバのインストールが完了するとコマンドプロンプトに「install: completed successfully」が表示され、MS832 が再起動します。

コマンドプロンプトに「exit」と入力して[Enter]キーを押すか、画面右上の  をクリックして、コマンドプロンプトを終了してください。

5. 正常にインストールが完了しているか確認する。

デバイスマネージャーを開いて「ポート (COM と LPT)」の項目に「MS832 2D Imager Scanner (COM 番号)」が表示されていればドライバのインストールは完了です。COM 番号は RSWedge などを使用します。



MS832 が接続されている USB ポートを変更すると、COM 番号も変更されます。動作が上手くいかない場合など、デバイスマネージャーから COM 番号をご確認ください。

USB 仮想 COM ドライバのアンインストール

1. #Setup.bat を実行する。

USB 仮想 COM ドライバを展開したフォルダ内にある「#Setup.bat」ファイルをダブルクリックして実行してください。

2. アンインストールコマンドを入力する。


「/u」と入力して[Enter]キーを押します。

3. 使用 OS のビット数を入力する。

32 ビット OS を使用している場合は「32」を、64 ビット OS を使用している場合は「64」と入力して[Enter]キーを押します。

4. アンインストールを開始する。

アンインストールを開始する場合は「Y」を、アンインストールせずに終了する場合は「N」を入力して[Enter]キーを押します。

ドライバのアンインストールが完了するとコマンドプロンプトに「uninstall: completed successfully」が表示されます。コマンドプロンプトに「exit」と入力して[Enter]キーを押すか、画面右上のをクリックして、コマンドプロンプトを終了してください。

USB 仮想 COM ドライバのインストールが上手くいかない場合

1. 管理者権限でログインする。

全ての操作が管理者権限で実行可能かどうか確認してください。

2. セキュリティ対策ソフトウェアを一時的に無効化する

セキュリティ対策ソフトウェアによってファイルのインストールが拒否されている可能性がある場合は、セキュリティ対策ソフトウェアを一時的に無効化してください。また、Windows 標準のファイアーウォールが有効となっている場合も一時的に無効化してください。

3. #Setup.bat を実行する。

USB 仮想 COM ドライバを展開したフォルダ内にある「#Setup.bat」ファイルをダブルクリックして実行してください。

4. プリインストールコマンドを入力する。

「/p」と入力して[Enter]キーを押します。

5. 使用 OS のビット数を入力する。


32 ビット OS を使用している場合は「32」を、64 ビット OS を使用している場合は「64」と入力して[Enter]キーを押します。

6. プリインストールを開始する。

プリインストールを開始する場合は「Y」を、インストールせずに終了する場合は「N」を入力して[Enter]キーを押します。

ドライバインストール中にセキュリティ警告が表示される場合は、「このドライバーソフトウェアをインストールします」をクリックして、ドライバのインストール作業を続行してください。

ドライバのインストールが完了するとコマンドプロンプトに「install: completed successfully」が表示され、MS832 が再起動します。

コマンドプロンプトに「exit」と入力して[Enter]キーを押すか、画面右上の  をクリックして、コマンドプロンプトを終了してください。

7. ホスト PC を再起動する

プリインストール完了後、MS832 が接続されている場合はホスト PC からはずして、ホスト PC を再起動します。再起動後、MS832 を再接続して、デバイスマネージャーで COM 番号が割り当てられているかご確認ください。

付録 A：Windows8/8.1 でドライバー署名の強制を無効にする方法

Windows 8/ 8.1 では一部の操作が異なります。操作が異なる箇所では、それぞれの操作方法を記載しています。

1. キーボードの[Shift]キーを押しながら、Windows の[再起動]をクリックします。

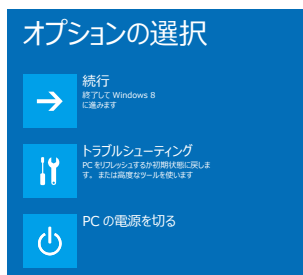


※ [Shift]キーが押せない場合など、次の操作でも同様のことが可能です。

Windows 8・・・[チャーム]-[設定]-[PC 設定の変更]-[全般]-[今すぐ再起動する]

Windows 8.1・・・[チャーム]-[設定]-[PC 設定の変更]-[保守と管理]-[回復]-[今すぐ再起動する]

2. 【トラブルシューティング】→【詳細オプション】→【スタートアップ設定】→【再起動】の順にクリックします。



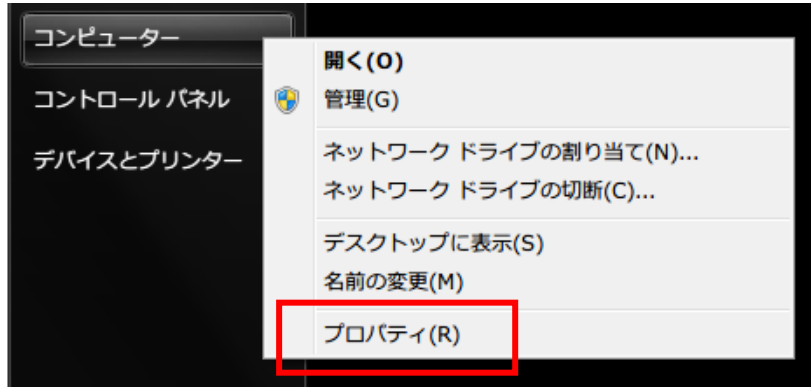
3. 再起動後、キーボードの【F7】キーを押します。

【F7】キーを押すと「F7) ドライバー署名の強制を無効にする」が実行された状態で Windows が再起動します。このスタートアップ設定は、次に再起動を行なうと元の状態に戻ります。

- ※ タブレットなどで画面キーボードが使用できない機種の場合は、外付けの USB キーボードをご使用ください。
- ※ スタートアップ画面で外付けの USB キーボードが使用できない場合は、BIOS 上 USB サポートが無効化されている可能性があります。USB サポートの有効化の方法は、タブレットのメーカーへご確認ください。
- ※ 一部の ASUS 製品の場合は、BIOS 内の「Fast Boot」または「Ultra Fast Boot」を「Disable」に変更することでキーボードの使用が可能となります。この設定を行なうことで起動しなくなる場合もございますので、BIOS の変更はタブレットのメーカーへご相談のうえ実行してください。
- ※ BIOS 設定の変更は、お客様のご責任において実行してください。BIOS 設定変更後に発生したいかなる障害も弊社では責任を負いかねますので、予めご了承ください。

付録 B：デバイスマネージャーを開く方法（例）

「スタートメニュー」の「コンピューター」を右クリックして表示されるポップアップメニューから「プロパティ」をクリックします。



「システム」画面の左にある「デバイスマネージャー」をクリックします。



付録 C : RSWedge™ Unitech 版

RSWedge™ Unitech 版について

本製品は、ウェルコムデザイン株式会社よりユニテック・ジャパン株式会社へ「2D イメージャバーコードスキャナ」の付属ソフトウェアとしてライセンス提供されたものです。弊社の「2D イメージャバーコードスキャナ」と同時に使う限りにおいては使用に関する制限はございません。

他の目的で使用する場合は、ウェルコムデザイン株式会社の使用許諾もしくは別途契約が必要です。

Unitech 版では、全角文字および半角カタカナ文字の開始・終了コードは設定できません。また、ログ機能はご使用いただけません。

上記機能が必要な場合は、ウェルコムデザイン株式会社より製品版のご購入を御検討ください。

RSWedge™ Unitech 版の取得方法

本書最終ページの [RSWedge™ Unitech 版 送付依頼書](#) に必要事項をご記入のうえ、FAX (03-3523-3766) または E メール (info@jp.ute.com) にてご返信ください。後日、担当者よりセットアップファイルを送付いたします。



RSWedge™ Unitech 版のインストール

1. セットアップファイルを実行する。

取得した RSWedge のセットアップファイルが ZIP で圧縮されている場合は、任意のフォルダへ解凍し、展開された「SetUp_FR.exe」をダブルクリックして実行します。

2. 画面の指示に従ってインストール作業を行ないます。

3. RSWedge™ Unitech 版を起動する。

インストールが完了したら、 ショートカットアイコンをダブルクリックするか、「スタートメニュー」の  **RsWedge** をクリックして RSWedge を起動します。

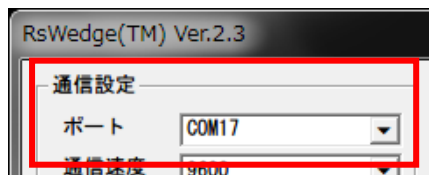
RSWedge™ Unitech 版の設定例

以下の図を参考に RSWedge の設定を変更します。



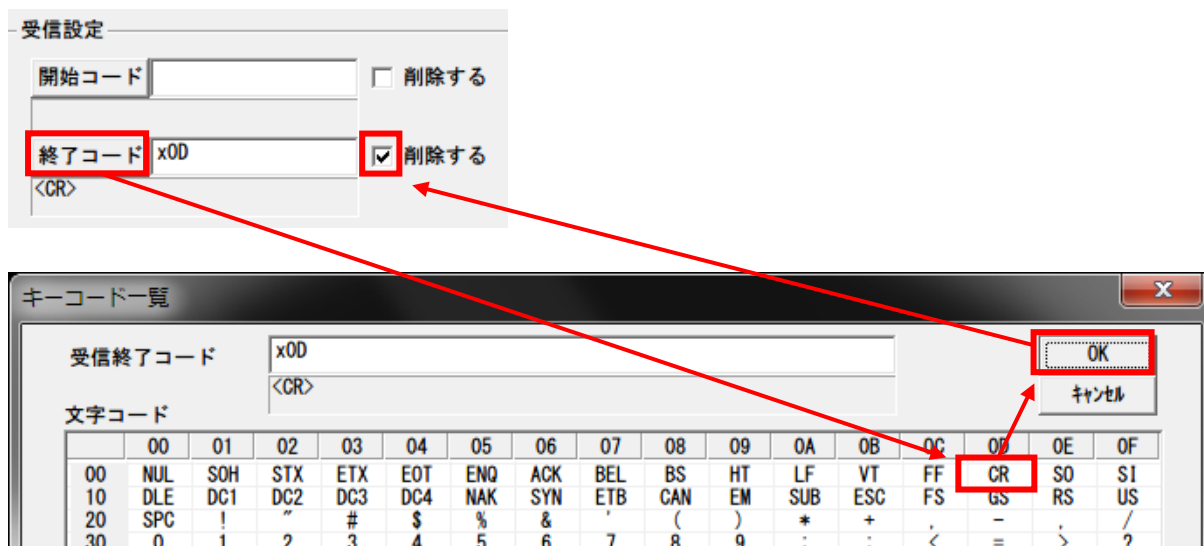
1. ポート番号を設定する。

デバイスマネージャーで確認できる COM 番号を選択します。



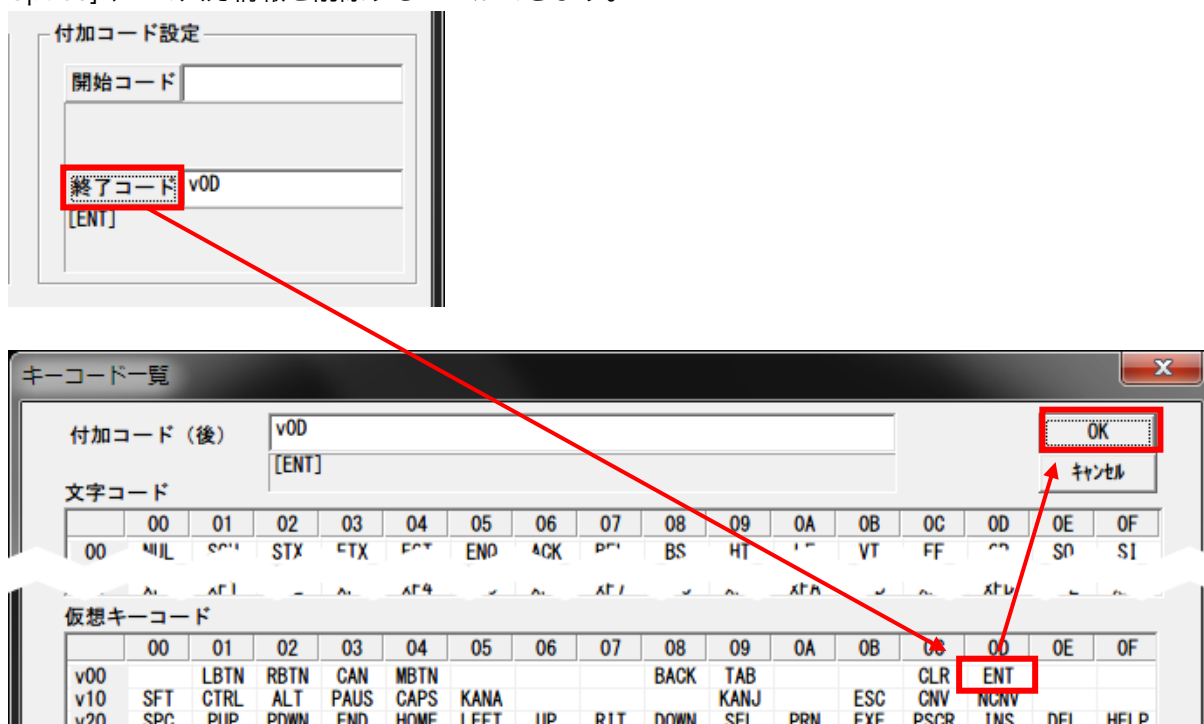
2. 受信設定の終了コードを設定する。＜データ末尾の CR を削除する＞

「終了コード」 ボタンをクリックして一覧表から「CR」をダブルクリックして「受信終了コード」欄に「x0D」と「<CR>」が1つ表示されたら「OK」 ボタンをクリックします。最後に「削除する」のチェックボックスにチェックを入れます。間違った場合は[Back Space]キーで入力情報を削除することができます。



3. 付加コード設定の終了コードを設定する。＜データ末尾に[ENTER]キーを付加する＞

「終了コード」 ボタンをクリックして一覧表から「ENT」をダブルクリックして「付加コード（後）」欄に「v0D」と「[ENT]」が1つ表示されたら「OK」 ボタンをクリックします。間違った場合は[Back Space]キーで入力情報を削除することができます。



4. 受信設定のデータ間隔を設定する。

「1000」に変更します。


受信待ち時間	10	ms
データ間隔	1000	ms

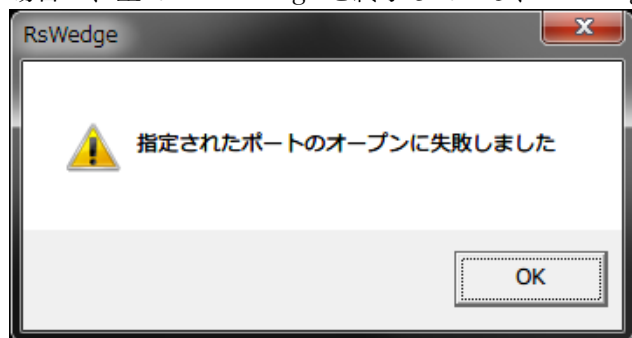
5. 変更した設定で MS832 と通信を行なう。

全ての設定を変更後、「開始」ボタンをクリックします。MS832 の COM ポートと通信が完了すると、「中止」ボタン以外の全てのボタンがグレイアウトします。




(「開始」ボタンをクリックすると RSWedge の設定が保存されます。)

エラーが表示された場合は、デバイスマネージャーで表示されている MS832 の COM 番号と RSWedge で指定する「通信設定」の「ポート」が同一か確認してください。COM 番号に相違が無い場合は、RSWedge が既に起動している可能性があります。タスクトレイを確認して  アイコンが 2 つ以上表示されている場合は、全ての RSWedge を終了してから、RSWedge を再実行してください。



6. Rswedge を最小化し、使用可能な状態にする。

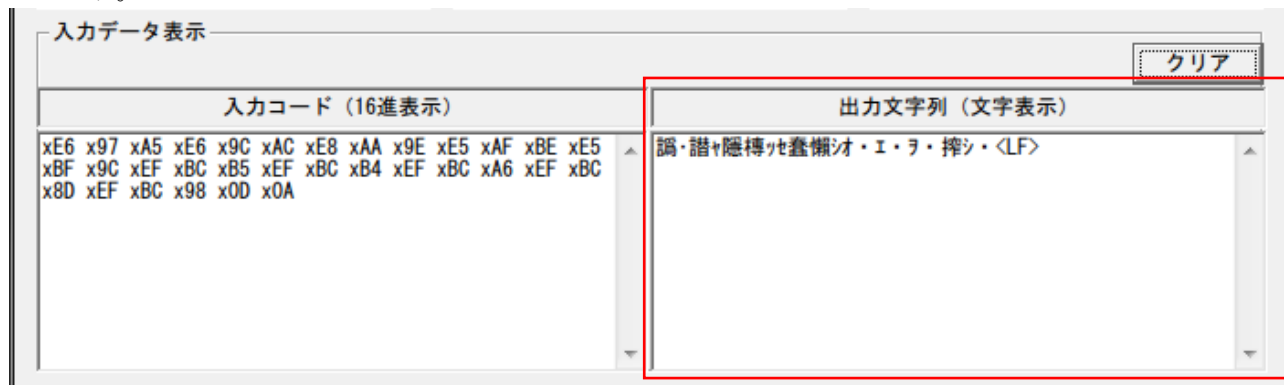
通信完了後、画面右上の  をクリックして RSWedge を最小化します。以降、アクティブなアプリケーションに対して MS832 で読取ったバーコードデータが出力されるようになります。

(注意：キーボード入力できない場所へはデータを出力できません。)

RSWedge™ を使用しても文字化けする場合（UTF-8 エンコードされた QR コードへの対応）

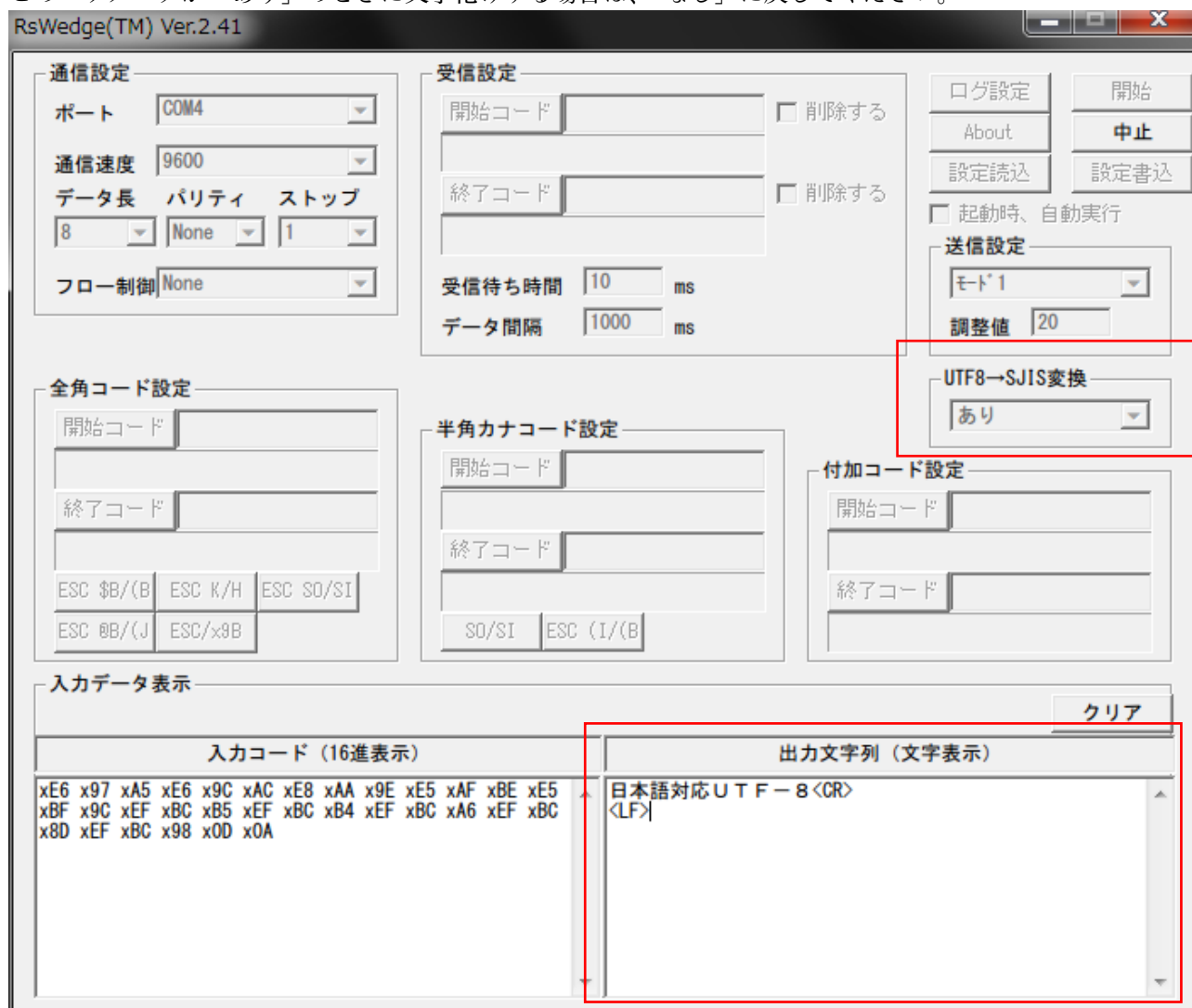
※このパラメータは、**RSWedge Ver2.41** 以降で使用が可能です。

UTF-8 でエンコードされた QR コードを読み取った場合、RSWedge を使用しても日本語が文字化けしてしまいます。




この場合、「UTF8→SJIS 変換」オプションを「なし」から「あり」に変更してください。

このパラメータが「あり」のときに文字化けする場合は、「なし」に戻してください。



最小化した RSWedge™ Unitech 版を再表示する

タスクトレイ（通常、画面右下）の  アイコンをダブルクリックするか、右クリックして「表示」を選択してください。



RSWedge™ Unitech 版を終了する

1. MS832 との通信を停止する。

RSWedge の画面を表示して「中止」ボタンをクリックし、MS832 との通信を終了させます。「中止」ボタンがグレーアウトしている場合は既に MS832 との通信が終了しているため、この手順は必要ありません。

2. RSWedge を終了する。

画面右上の  をクリックします。

RSWedge™のその他操作方法を確認する

「スタートメニュー」の「RSWedge」の項目または、RSWedge のインストールフォルダにある「操作ガイド」の PDF ファイルをご参照ください。

RSWedge™ Unitech 版 送付依頼書

RSWedge をご希望の方は、必須項目をご記入いただきご返送ください。

【E メール添付 ・ メディア送付(CD-R)】 ← ご希望の送付方法を○で囲ってください

※ お急ぎの場合はメールをお選び下さい。折り返し御連絡頂いたメールアドレスへお送りします

貴 社 名 (必須)

部 署 名

ご担当者名 (必須)

住所 (必須) 〒

電話番号 (必須)

FAX 番号

メールアドレス (必須)

ご購入店 (必須)

使用台数 (必須)

MS832-7UCB00-SG : _____ 台

シリアルナンバー記載欄 (必須)

※ RSWedge と一緒に使用する MS832 のシリアルナンバーをご記入ください。

※ 台数が 10 台を超える場合は、そのうち 10 台分のみご記載ください。

① _____	⑥ _____
② _____	⑦ _____
③ _____	⑧ _____
④ _____	⑨ _____
⑤ _____	⑩ _____

ユニテック・ジャパン 株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川 1-5-19 茅場町長岡ビル 8 F

TEL 03-3523-2766 (代) FAX 03-3523-3766

info@jp.ute.com